

# RACING PROGRAM

東京競馬場・京都競馬場・新潟競馬場

レーシングプログラム

出走馬一覧表

2024.5.18

平安ステークス[GⅢ]



未来へ、走り続ける。



優駿牝馬(オークス) エアグリーブ



JRA 70th Anniversary メモリアルヒーロー

HERO IS COMING.

前日発売

優駿牝馬(オークス)[GⅠ]

優駿牝馬(GI)(第85回オークス)

2400m(芝・左)Bコース使用

出走取消馬の表示は5月17日12時00分現在のものです。その後に出走取消馬手変更等が生じる場合がありますのでご注意ください。

Main table containing horse names, jockeys, race results, and photos for the Japanese Oaks. Columns include horse number, name, jockey, photo, and performance data.

※ブレイクは、原則としてGI・JpnI競走は6着まで、その他の重賞・オープン競走は4着までのレーティング値が対象となり、昨年のJPNサラブレッドランキング(外国馬はワールドベストレースホースランキング)と本年度レーティング最高値のうち高い方を掲載しております。ブレイク中の「」内数字は2歳時のものです。レーティングの詳細につきましては本誌中面に掲載しております。

# エアグルーヴ

25,815票



1996年 優駿牝馬(オークス) (GI)

## オークス母娘制覇を成した美しき女帝

1990年代の終わりに、端正な顔立ちと美しいフォルムの馬体で数々の快挙を成し遂げた女帝エアグルーヴ。その活躍は、まさに牝馬が牡馬と互角以上に戦う時代を、ひと足早く先取りするものだった。

最初のタイトル獲得の瞬間は、しかしなかなか訪れなかった。阪神3歳牝馬S(現在の阪神ジュベナイルフィリーズ)はビワハイジに逃げ切られ惜敗。チューリップ賞でそのビワハイジを5馬身突き放して雪辱を果たすも、桜花賞は直前の熱発で回避を余儀なくされた。

そして迎えた1996年オークス。中団やや前を追走したエアグルーヴは、3コーナーから抑え切れない手ごたえで進出していった。直線入口で外から前の馬群を捉えると、これまでの鬱憤をすべて晴らすような美しく伸びやかな走りで先頭に立ち、ゴールを目指す。最後は大外から追い込んだ桜花賞馬ファイトガリバーを1馬身半抑える余裕のフィニッシュで、ついに世代の牝馬の頂点に立ったのだった。

オークスは13年前、母ダイナカールが歴史的な接戦を制して勝利しているレースだった。母娘制覇は大戦前後のクリフジとヤマイチ以来、史上2例目。じつに42年ぶりに成し遂げられた快挙だった。

翌年、エアグルーヴはもう一つの偉業を達成した。マーメイドS、札幌記念と連勝して迎えた天皇賞(秋)で、連覇を狙うバブルガムフェローを直線の一騎打ちで下して優勝。牝馬の天皇賞制覇は17年ぶり、グレード制導入以降では初の快挙だった。その後もジャパンカップ2着、有馬記念3着と好走したエアグルーヴは、JRA賞年度代表馬を受賞。牝馬としては1971年トウメイ以来26年ぶりの快挙であった。

5歳時も札幌記念連覇、宝塚記念でサイレンススズカの3着、ジャパンカップでエルコンドルパサーの2着など活躍。引退後は繁殖牝馬としてアドマイヤグルーヴやルーラーシップを出し、孫からはドゥラメンテが出るなど、その血は今も日本競馬の中心で輝き続けている。

### 優駿牝馬(GI) (第57回オークス)

1996年5月26日 東京競馬場 2400m(芝・左) 晴・良 18頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/着差	人気	通過順位
1	エアグルーヴ	牝3	55	武 豊	伊藤 雄二	2:29.1	①	7 6 4 4
2	ファイトガリバー	牝3	55	田原 成貴	中尾謙太郎	1 1/2	④	17 17 17 14
3	リトルオードリー	牝3	55	佐藤 哲三	小林 稔	クビ	⑧	14 14 13 14
4	ロゼカラー	牝3	55	藤田 伸二	橋口弘次郎	ハナ	⑦	9 9 12 10
5	マックスロゼ	牝3	55	柴田 善臣	伊藤 雄二	1 1/2+1/2	⑨	7 6 9 10

※5位入線のノースサンデーは12着降着

### エアグルーヴ Air Groove

1993年4月6日生 牝 鹿毛

父:トニービン 母:ダイナカール 母の父:ノーザンテースト 生産:早来・社台ファーム

馬主:吉原貞敏氏→吉原每文氏  
→株式会社 ラッキーフィールド  
通算成績:19戦9勝

#### 主な勝ち鞍

- 1998年 札幌記念(GII)、産経大坂杯(GII)
- 1997年 天皇賞(秋)(GI)、札幌記念(GII)、マーメイドS(GIII)
- 1996年 オークス(GI)、チューリップ賞(GIII)



1997年天皇賞(秋)(GI)

# メモリアルヒーローファン投票結果

2023年に行った70周年メモリアルヒーローファン投票、本競走の結果は以下の通りです。  
2位:エアグルーヴ(25,815票)

1<sup>位</sup> **アーモンドアイ** 39,573票



2018年の優勝馬にして同年の牝馬三冠馬。単勝オッズ1.7倍の圧倒的1番人気に推された本競走では、2馬身差の快勝をおさめた。翌年にはドバイでもG1を制している。

3<sup>位</sup> **ラヴズオンリーユー** 18,509票



2019年の本競走を2分22秒8のレースレコードで優勝。ここが4戦目で、無敗での戴冠となった。21年に香港とアメリカのG1を3勝するなど海外でも活躍した。

4<sup>位</sup> **シーザリオ** 16,863票



鋭い末脚で2005年の本競走を制した。同馬の上がり3ハロン推定タイムは33秒3で、出走馬中最速。次走でアメリカンオークスを制して日米のオークスを連勝した。

5<sup>位</sup> **ジェンティルドンナ** 16,666票



2012年の優勝馬にして同年の牝馬三冠馬。4コーナー15番手からの鋭脚を繰り出して他馬を一蹴した。14年にはドバイシーマクラシックを制している。



特設サイト

同一の競走馬が複数のレースで1位となった場合、その競走馬は最も多く票を獲得したレースの「メモリアルヒーロー」といたします。その他のレースにつきましては、2位以下となつた競走馬から得票数の多い順に繰り上げとなります。(同一の競走馬が複数レースの「メモリアルヒーロー」となることはありません。)

❖2023 Winner❖  
リバティアイランド

馬主: 有限会社 サンデーレーシング  
生産: 安平・ノーザンファーム  
騎手: 川田将雅  
調教師: 中内田充正



# 優駿牝馬(オークス)

## 新緑の喝采、桜の女王が戴冠

### オークスとは

本競走は、イギリスの『オークス』に範をとり、1938年に『阪神優駿牝馬』の名称で創設された重賞競走。当時は、我が国と競馬先進国で、3歳牝馬の成長度に半年程度の差があると考えられていたため、秋に実施されていた。1946年に開催場を東京競馬場に変更したことを機に、現在の『優駿牝馬』に改称。1953年には実施時期を諸外国と同様の春に変更し、現在に至る。

オーク(Oak)は、桜を意味する英語。『英ダービー』の創設者である第12代ダービー卿エドワード・スミス・スタンレーは、桜の森が茂るオークスと呼ばれる土地を所有していた。1779年、彼はエリザベス・ハミルトンと結婚した際に、その記念として競馬を開催することを思い立ち、その中に夫人の希望を入れ、3歳牝馬のレースを行い、これを『オークス』と名付けたと言われている。

### オークスアラカルト

#### ❖最多勝調教師❖

尾形藤吉

1938年アステリモア、1942年ロツクステーツ、  
1943年クリフジ、1954年ヤマイチ、1969年シャダイターキン  
稲葉幸夫

1941年テツバンザイ、1972年タケフブキ、  
1973年ナスノチグサ、1976年テイタニヤ、1981年テンモン

#### ❖最多勝騎手❖ 嶋田功

1972年タケフブキ、1973年ナスノチグサ、  
1974年トウコウエルザ、1976年テイタニヤ、  
1981年テンモン

#### ❖最多勝利種牡馬❖

セフト

1948年ヤシマヒメ、1949年キングナイト、  
1950年コマミノル、1952年スウキイスー  
パーソロン

1971年カネヒムロ、1972年タケフブキ、  
1973年ナスノチグサ、1974年トウコウエルザ  
ディーブインパクト

2012年ジェンティルドンナ、2015年ミッキークイーン、  
2016年シンハライト、2019年ラヴズオンリーユー

#### ❖レースレコード❖ 2分22秒8 2019年ラヴズオンリーユー

#### ❖最高払戻金額(単勝)❖ 6,270円

1985年ノアノハコブネ 28頭中21番人気

#### ❖最大着差❖ 大差

1947年トキツカゼ

#### ❖最小着差❖ 同着

2010年アパパネ、サンテミリオン



1981年テンモン



2022年優勝馬:  
スターズオンアース



2021年優勝馬:  
ユーパーレーベン



# JRA70年とオークス そのあゆみ

1964

10th Anniversary



第25回オークス 優勝馬 **カネケヤキ**

1974

20th Anniversary



トウコウエルザ (左)

第35回オークス 優勝馬 **トウコウエルザ**

1984

30th Anniversary



第45回オークス 優勝馬 **トウカイローマン**

1994

40th Anniversary



第55回オークス 優勝馬 **チョウカイキャロル**

2004

50th Anniversary



第65回オークス 優勝馬 **ダイワエルシエーロ**

2014

60th Anniversary



第75回オークス 優勝馬 **ヌーヴォレコルト**

2024

JRA 70th Anniversary

5月19日 15時40分発走

**優駿牝馬 (GI) (第85回オークス)**

東京競馬場 2400m (芝・左) 3歳牝 除未出走馬および未勝利馬

未来へ、走り続ける。

70th  
ANNIVERSARY